



SKK
SUPERIOR
COATINGS

BIOTIGHT #10

バイオタイト #10

防かび防藻型バイオ塗料

防火認定材料（艶有り）

NM-8585/不燃、QM-9816/準不燃、RM-9364/難燃

ホルムアルデヒド
放散等級

F★★★★

バイオタイト#10は、防かび、防藻性に優れた水性合成樹脂エマルジョンペイントです。下塗材に防かび、防藻性を有する水性ミラクシーラーエコを用いることで、微生物の発生をダブルで抑制します。また、バイオタイト#10（艶有り）は、防火認定材料であり安心して屋内に塗装することができます。

■特長

●優れた防かび・防藻・防汚性

特殊設計により、自然界のかび、藻などの微生物による汚染を抑制し、美観を保ちます。

●耐久性

長期に亘って、優れた耐久性を示します。

●安全性

水性のため、火災や有機溶剤中毒等の心配が少なく、屋内外で安全に使用できます。

（SKK カビ除去剤#50 はアルコール系の殺菌剤のため、注意が必要となります。）

■用途

一般的な内外装、厨房、食品工場、病院、学校、等（浴室、木部、金属へは使用不可。）

■荷姿

バイオタイト#10（艶有り・艶消し）	16kg 石油缶（標準塗坪：53～66 m ² /缶）
	4kg 缶（標準塗坪：13～16 m ² /缶）
水性ミラクシーラーエコ	15kg 石油缶（標準塗坪：50～150 m ² /缶）
（クリヤー・ホワイト）	
SKK カビ除去剤#5（塩素系）	18kg ポリ容器、5kg ポリ容器
★SKK カビ除去剤#50（アルコール系）	16L 石油缶、4L 缶

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

《危険情報と安全対策》

ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読み下さい。また、安全データシート（SDS）もご参照ください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

《施工後の注意》

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

■ 性能試験成績表

バイオタイト#10 艶有り

● J I S K 5 6 6 0 つや有合成樹脂エマルジョンペイントによる物性試験結果

試験項目	結果	品質	
容器の中での状態	合格	硬い塊がなくて一様になる。	
塗装作業性	合格	支障がない。	
塗膜の外観	合格	正常である。	
低温安定性 (−5℃)	合格	変質しない。	
表面乾燥性	常温乾燥	合格	2時間以内で表面乾燥する。
	低温乾燥	合格	4時間以内で表面乾燥する。
隠ぺい率 % [白色及び淡彩色]	97	95以上	
鏡面光沢度 (60度)	83	70以上	
耐水性	合格	異常がない。	
耐アルカリ性	合格	異常がない。	
耐洗浄性	合格	洗浄に耐える。	
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	湿潤冷熱繰返しに耐える。	
促進耐候性	合格	光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1又は0で、色の変化の程度が見本品に比べて差がない。	
屋外暴露耐候性	合格	白亜化の等級は2、1又は0で、割れ、はがれ、膨れ及び穴がなく、色とつやとの変化の程度が見本品に比べて差がない。	

バイオタイト#10 艶消し

● J I S K 5 6 6 3 合成樹脂エマルジョンペイント1種による物性試験結果

試験項目	結果	品質	
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	
塗装作業性	合格	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。	
低温安定性 (−5℃)	合格	変質してはならない。	
乾燥時間	標準状態	合格	2時間以内
	5℃	合格	4時間以内
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。	
隠ぺい率 % [白色及び淡彩色]	98	93以上	
耐水性	合格	96時間浸したとき異常がないものとする。	
耐アルカリ性	合格	48時間浸したとき異常がないものとする。	
耐洗浄性	合格	500回の洗浄に耐えるものとする。	
促進耐候性	合格	白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	
屋外暴露耐候性	合格	12ヶ月の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	

■ 標準施工仕様

新築：平滑仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (h r)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
素地調整		・ 下地はよく乾燥させ、含水率 10%以下、pH10 以下としてください。 ・ 付着物は完全に除去し、傷・不陸・目違いなどは補修調整してください。						—	
1	下塗り	水性ミラクシーラーエコ (クリアー・ホワイト)	既調合	0.10~0.13	1	—	2 以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30 cm
2	上塗り	バイオタイト # 10	100	0.24~0.30	2	3 以上	—	24 以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30 cm
		清水	0~15	—					

※防火認定仕様につきましては、バイオタイト # 10 (艶有り) を使用してください。

※ALC 面、多孔質下地、粗面、その他下地に問題がある場合は、カケンファイラーまたはミラクファンD KC-1000 にて下地調整を行ってください。

※押出成形セメント板、GRC 板などの仕様は別途お問い合わせください。

改装：

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (h r)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
下地調整		・ 劣化した塗膜はケレン等により除去してください。ほこり、汚れは水洗い等により除去してください。 ・ 劣化した目地材は除去した後、シーリング材による打ち替えを行ってください。						—	
1	下塗り	水性ミラクシーラーエコ (クリアー・ホワイト)	既調合	0.10~0.30	1~2	2 以上	2 以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30 cm
2	上塗り	バイオタイト # 10	100	0.24~0.30	2	3 以上	—	24 以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30 cm
		清水	0~15	—					

※下地、旧塗膜の劣化が著しい場合は、水性ハイブリッドシーラー (15kg セット) をご使用ください。

■ 殺菌工程

改修工事などで既にかびや藻が発生している場合は、殺菌洗浄剤 (SKKカビ除去剤 # 5【塩素系】、SKKカビ除去剤 # 50【アルコール系】) をご用意しております。一度生えたかびや藻は表層部だけでなく内部に浸透している場合があります。通常の洗浄だけでは再発する可能性がありますので、事前に殺菌洗浄を行うことで、より高い防かび・防藻効果を発揮することができます。

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (L/m ²)	塗回数	間隔時間 (h r)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
※1 殺菌・洗浄	SKK カビ除去剤 # 5	100	希釈した液を左官ブラシなどに含ませ、汚れた部分にこすりつけるように洗浄してください。さらに汚れた部分とその周辺を洗浄してください。					ローラー 刷毛
	清水	500~1000						
水洗浄		・ 殺菌洗浄後、約 2~3 時間放置した後、清水で十分洗い流してください。 ・ 汚れの取れなかった場合は、再度繰返し洗浄してください。						—
※2 殺菌	SKK カビ除去剤 # 50	既調合	0.12~0.18	1~2	0.5 以上	1 以上	—	ローラー 刷毛

※1.塗膜表面に付着した菌の殺菌洗浄工程。

※2.塗膜内部に浸透した菌の殺菌工程。

■ 施工上の注意点

- ※1. 防かび、防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件（建物の北面などで常時湿気、水分が滞留しやすい壁面、植栽や森林などが隣接、接触している壁面など）により、防かび、防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- ※2. かびが付着している場合は、SKKカビ除去剤#5（塩素系）にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。なお、酸性洗浄剤との併用は避けてください。
- ※3. SKKカビ除去剤#5、★SKKカビ除去剤#50 を使用の際は、保護メガネ、保護手袋などをご使用ください。万一、手や粘膜などに付いた場合は大量の清水で速やかに洗浄してください。
- ※4. SKKカビ除去剤#5 はさびが発生する可能性があるため、金属部への使用は避けてください。金属部へはアルコール系の★SKKカビ除去剤#50 を使用してください。
- ※5. SKKカビ除去剤#5、★SKKカビ除去剤#50 を使用の際は、樹木、植木及び池の鑑賞魚などに影響を及ぼすおそれがありますので、予め養生を行ってから、施工に入ってください。
- ※6. やに・あくが発生している場合は、中性洗剤などで拭き取った後、予めSK水性ヤニ止めシーラー（15kg石油缶）を塗付してください。
- ※7. 改装時など、やにが発生するおそれがある下地への施工は、予めSK水性ヤニ止めシーラーを塗付してください。
- ※8. 紙壁紙や織物壁紙へは使用しないでください。
- ※9. 本来の防かび、防藻性能を発揮するために、水性ミラクシーラーエコは希釈しないでください。
- ※10. 水性ミラクシーラーエコ、SK水性ヤニ止めシーラーは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や刷毛、ローラー、エアレスなど塗装器具の共用は避けると共に、同じ洗剤水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
- ※11. バイオタイト#10 の清水（水道水）での希釈率は、スプレー塗り時で「10～15」、刷毛・ローラー塗り時で「0～15」となります。
- ※12. 上塗材の希釈率は試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈量で使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
- ※13. 濃色や原色に近い色目は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣服などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
- ※14. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象現象、希釈率等の各条件により増減します。
- ※15. 塗り重ね時間は環境（温度、湿度、換気、風通しやすさ）や膜厚によって変わります。
- ※16. 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- ※17. 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ※18. 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- ※19. 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りとは仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- ※20. 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- ※21. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- ※22. 著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤形塗料での塗装を推奨いたします。
- ※23. 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- ※24. 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- ※25. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
- ※26. ★SKKカビ除去剤#50 は溶剤形のため、火気厳禁とし、防毒マスクを使用するなど取り扱いに注意してください。詳しくは、施工仕様書をご確認ください。
- ※27. 「所要量」は塗装条件等により異なりますが、被塗装面に付着させる塗料の「標準塗付量」は、水性ミラクシーラーエコ（クリアー・ホワイト）で 0.08～0.10 kg/m²、バイオタイト#10 で 0.22～0.24 kg/m² となります。各材料の使用数量などを算出する際には、「所要量」を基準としてください。

(2203.H-2)